

令和4年度 第3回大木中学校運営協議会 記録概要

令和4年9月22日(木) 18時00分～

大木中学校・多目的室

1 出席委員：大野ひさ子，吉田四郎，樋口比呂磨，藤井さゆり，杉本五月，
山中泰成，太田寛，藤田恭江，神原由明

欠席委員：小林綾子，森村通和，

2 学校運営協議会委員長あいさつ

3 学校からの報告

(1) 学校長

- ・新校舎建設の進捗状況について説明
- ・9月27日に建設委員会の方による内覧会を実施
- ・令和5年3月20日に新校舎完成式開催予定
- ・全国学力・学習状況調査は、3教科とも全国の平均を上回った
- ・長期欠席は昨年度と同じような状況
- ・合唱コンクールの保護者参観は、各学年のリハーサルとした。10月28日の文化祭合唱コンクールは、全校生徒を体育館に入れて実施する。

(2) 生徒指導担当

- ・校則見直しの取組状況について説明
- ・9月上旬にTシャツの外出し、靴の色の自由、髪の色・結ぶ位置の自由について試行を行った。
- ・Tシャツの外出しについては、そのまま継続している。
- ・今後、生徒アンケートを実施し、結果を参考に1月までに見直す内容を決める。

(3) 教務担当

- ・2学期は、社会見学、文化祭、合唱コンクールと大きな行事が続きます。特に、合唱コンクールの練習に頑張っている。
- ・9月から一人一台端末の持ち帰りを実施している。

4 協議事項・・・「新校舎図書館の利用について」

【各委員からの意見等】

- ・開放委員会を立ち上げる必要があると思う。会議室の利用も含まれる。
- ・若松地区市民センターには、地域部屋がある。土・日も使えるようにしている。使用については、登録した団体が使えるようにしている。代表者への説明を行い、責任をもって使ってもらえるようにしている。地域の方(2名)がカギを持ち、利用する方がカギを借りて使っている。部屋を使用している間は、玄関のカギを施錠している。
- ・中学校と市民センターでは、状況が違うところもある。

- ・平田野中や神戸中の場合どうか。→神戸中は、図書館開放はない。
- ・心配なことは、玄関にカギがかかっていない状況である。人の出入りが自由では、不審者の侵入が心配される。防犯上の心配が大きい。
- ・シャッターで仕切りが作られるのは、地域利用のためである。市内の小中学校で事例がないのであれば、大木中が第1号として取り組むことは重要である。
- ・公民館では、一般の方は有料、登録団体は無料となっている。ルールを決めて使えるようにすべきである。
- ・若松地区市民センターでは、誰がいつ使ったかわかるように記録をするようにしている。
- ・若松地区市民センターの地域部屋と会議室のカギの管理は別になっている。会議室は予約してカギを借り、使用後にポストへ返却する。
- ・使った後の掃除はどうするのか。→使った団体で責任をもって行うこと。
- ・地域の方に本の貸し出しをするためには貸出カードを作成する必要がある。
- ・大木中校区の子どもたちにとって、市の図書館は遠い。新校舎の図書館が使えて、勉強ができるとよい。
- ・図書館の管理は誰がするのか。
- ・目標は、令和5年の9月に図書館の運用ができることであるが、様々な課題がクリアされなければ、運用開始は遅れることになると思う。
- ・平日に地域の方が図書館を利用する場合、授業の妨げにならないか。→子どもたちの授業を優先にしてほしい。
- ・生徒のいる時間帯に一般の方の出入りがあるのは、防犯上心配である。
- ・これからもいろいろな意見を出し合って、教育委員会にも要望を出していくことも重要である。
- ・図書館利用に関して、駐車場から図書館までの経路がわかるように掲示物等で示してほしい。
- ・非常口はどこになるのか、調べておく必要がある。

【CS推進コーディネーターから】

- ・亀山市の川崎小学校では、学校と地域で活用スペースを分けている。土・日は、図書館を地域開放しているが、平日はしていない。
- ・学校図書館の地域活用については、全国的に事例は少ない。

5 連絡事項

第4回（校区合同学校運営協議会）：11月22日（火）16時30分～
会場：大木中学校・多目的室（中館2階）